

98.2.24.朝日新聞(ゆ)

完全学校週5日制の実施

1年前倒し2002年に

小中高同時
文相が表明

町村信孝文相は二十四日の閣議後の記者会見で、ゆとりの中で自然体験などを導入する完全学校週五日制の実施を一年繰り上げ、二〇〇二年度から小中高校で同時実施する考えを明らかにした。一九九九年春までに新学習指導要領を告示して教科書会社に協力を求め、小中学校用の教科書は新指導要領に基づいたものにする方針だ。町村文相は「早期実施を求める声各界から強い。事務的に十分可能だと判断した」と述べ、実質的な決定であることを強調した。

文相によると、昨年十一月の教育課程審議会の間、まとめに対して、地方議

会、日教組、経済団体などから早期実施を求める要望が相次いだ。政府・自民党も、完全五日制で週末の家族レジャーが増えれば景気対策になるとして大幅な繰り上げを求めている。

新指導要領告示後は、九年度中に教科書会社が小中学校用の新しい教科書を編集し、二〇〇〇年度に検定、二〇〇一年度採択、二〇〇二年度使用——となる

見込みだ。

高校用教科書は冊数が多い上に新科目もできることから、小中学校用と一緒に検定することは実務的に不可能で、高校への新指導要領の導入は二〇〇三年度入

学の一年生から学年進行の形になると見られる。

教育課程審議会の間、まとめは、高校の卒業に必要な

単位数を現行の八十単位から七十四―七十六単位に引き下げることを打ち出している。文部省は、高校の

二〇〇二年度についてはこの点を先取りして、現行の指導要領のまま完全五日制を導入する方針だ。